



2025-2026
国際ロータリーテーマ

よいことのために
手を取りあおう



フランチェスコ・アレツォ



諫早西RC
ホームページ



Facebook



諫早西RC
掲示板



2025-2026年度 諫早西ロータリークラブテーマ

『ロータリアンとしての品格と誇りを持とう』

諫早西ロータリークラブ会長 吉田 健一郎

第1886例会 2025年12月3日例会記録 NO.18 天候 曇り後晴れ

【本日】	会員数	44名	出席	33名	欠席	8名	出席率 (急ぎ)	0名	免除	3名	出席率	80.49%
【11/12】	会員数	44名	出席	33名	欠席	7名	(MU)	5名	免除	4名	出席率	82.50%
【11/19】	会員数	44名	出席	34名	欠席	6名	(MU)	5名	免除	3名	出席率	82.93%

会長の時間

まずは、大分県佐賀関における火災は、家屋に燃え広がり11日目に鎮火するという未曾有の大災害になりました。被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げます。

話題を変えませんが、先月テレビを付けましたら国会中継が放映されました。衆議院予算委員会で斉藤健議員が一般質問をしていました。質問の最後に、「駅前や商店街の本屋さんがどんどん消えている。電子書籍やインターネット通販の普及、読書離れなどにより、日本人の知的レベルが低下しかねない。首相の公約の18番目に入れて欲しい。」との嘆願をしていました。

確かに私たちの町でも、長い間親しまれてきた本屋が閉店しています。皆さんの中にも、「あの店よく行っていたな」と思い出がよみがえる方も多いのではないのでしょうか。

小さい頃に親に連れられて行った本屋さんに並んでいた付録付きの漫画本。学生になって一人で行った時、思いがけず出会った一冊に胸が高鳴った瞬間…そんな記憶がありませんか。

本屋は、単に“本を買う場所”ではなく、私たちの感性や好奇心を育ててくれる「町の文化の交差点」だったように思います。しかし今、ネットで何でも買える時代になりました。確かに利便性という点では、ネットの方が優れている部分もあります。但し、ネットでは一度閲覧したら次々と類した本の紹介がきます。

その点、本屋さんでは偶然の出会いがあります。書棚を巡る中で何気なく取った本から視野を広げ、新たな世界が開けることがあります。

釈迦に説法かと思いますが、幕末に渡来した異人は国民の識字率の高さに驚いたそうです。現代では、本屋がある町とない町では、子供の読書量にも差が出るのが発表されています。以前お話したお茶の水女子大の藤原正彦名誉教授は、数学者ですが「①に国語・②に国語。そしたら自然と算数の力も付く。だが、現代人は読書力が低下している」と話されています。これも本屋さんが無くなっている影響だと思っています。

又、書店員さんと交わすちょっとした会話や、店頭には並ぶ本を見て「今、世の中で何が関心を集めているのか」を



吉田 健一郎 会長

会長／吉田 健一郎 幹事／友永 俊介 創立日／昭和60年2月20日 認証日／昭和60年3月5日
 例会場／平安閣 諫早サンプリエール(毎週水曜日) 〒854-0053 諫早市小川町71-1 TEL (0957) 24-3907
 事務局／諫早商工会議所内 〒854-0016 諫早市高城町5番10号 TEL (0957) 22-3323
 会報委員／辻 保行・久保 泰正・古賀 秀次・大町 誠
 HP/<https://isahaya-west.com> E-mail/info@isahaya-west.com

感じ取ることも、本屋ならではの価値です。

本屋が消えてしまうということは、“本を買う場所が減る”だけでなく、私たちの町の文化、子供の未来、人と人のつながり、地域経済への衰退といったすべてに影響が及びます。

結びとして、気が向いたときに、地元の本屋さんへ寄ってみて、何か気になる一冊を手にとってみて下さい。その小さな行動が、ロータリーの理念「超我の奉仕」であり、町の文化を守る大きな力になると思います。

幹事報告

【例会変更】

※諫早多良見ロータリークラブより

日時：令和7年12月23日(火) 19:00～

場所：ホテルグランドパレス諫早

※家族同伴クリスマス例会のため

※雲仙 諫早南ロータリークラブより

日時：令和7年12月15日(月)

⇒ 22日(月) 18:00～

場所：ホテルフラッグス諫早

※年次総会及び忘年例会の為

※諫早ロータリークラブより

日時：令和7年12月19日(金) 12:30

⇒ 18:30～

場所：水月楼

※忘年例会について

【例会休会】

※諫早多良見ロータリークラブより

日時：令和7年12月30日(火)

※定款第7条第1節(d)(1)により

※諫早ロータリークラブより

①日時：令和7年12月26日(金)

②日時：令和8年 1月 2日(金)

※定款第7条第1節(d)により

【12月誕生日祝】



平野 義信 君 昭和26年12月 7日

【お知らせ】

※国際ロータリー日本事務局より

「12月ロータリーレート 1ドル=156円」

「クラブ・地区支援室メッセージ」

「財団室NEWS 2025年12月号」

※ガバナー事務所より

①「大分・佐賀県大火災への対応について」

(時期を見て、義援金のお願いをさせていただきます)

②「第54回ロータリー研究会 御礼状」

③「奉仕活動取材依頼書の活用について」

※諫早多良見ロータリークラブより

「2024-25年度鎮西学院大学ジャズアンサンブルローター

アクトクラブ決算書」

※雲仙 諫早南ロータリークラブより

「鎮西学院大学ジャズアンサンブルローターアクトクラブ
例会のお知らせ」

日時：令和7年12月20日(土)

12:30～13:30

場所：鎮西学院大学ウィルキンス館4階 西山ホール

※ロータリー米山記念奨学会より

「ハイライトよねやま vol.308」

※諫早商工会議所より

「新年祝賀会のご案内」

日時：令和8年1月5日(月) 18:00～19:20

場所：L&Lホテルセンリュウ

会費：6,000円 ※立食形式

【12月結婚記念日祝】



今川 英樹 君 平成 7年12月3日

山崎 祥弘 君 昭和42年12月5日

😊 スマイルボックス 😊

吉田健一郎君：月めくりカレンダーも残り1枚になりました。本年最後の仕上げと思い頑張ります。

今川 英樹君：先月はボジョレーヌーボーたくさんご購入頂き、ありがとうございました。また、本日12月3日結婚記念日で30年になります。合わせてニコニコします。

大町 誠君：先日、平安閣協力店のゴルフコンペがあり、見事日高会員が優勝でした。おめでとうございます。

清水 淳君：先日移動例会はお疲れ様でした。参加された会員の皆様ありがとうございました。

永井 栄次君：入院してました。久々の例会です。やっぱりみなさんの顔みるとホットします。今年もあと少し頑張りますよ。

野中 英己君：久しぶりにニコニコをします。私の妻が長崎県卓球レディース大会で優勝しました。強い女性です。

平野 義信君：祝って頂きありがとうございます。知らない間に74歳になります。今後も宜しくお願い致します。

荒木 公義君：私だけかな、寒さを感じるようになりましたね。

山崎 祥弘君：結婚してもう何年になりますか。

吉次 良治君：秋の叙勲で小野会員の奥様が受章の栄誉を頂かれました。おめでとうございます。夫婦で天皇陛下に会われた、感想の卓話をお願いします。

小野 秀喜君：先月21日、配偶者として叙勲の伝達式に法務省、又皇居に行って来ました。感動、感謝の1日でした。

日高 正朗君：例会欠席してすみませんでした。先日の平安閣協力店のゴルフコンペで大町支配人がグロス85でした!! スゴイ!!

植杉 親優君：新婚旅行に行ってきました。土産代としてニコニコします。ハワイのドン・キホーテに森長のカステラが売ってました。

本日の合計 (11/5)	累計額
¥35,000	¥498,000

【御見舞い】



日高 正朗 会員、永井 栄次 会員

【卓話】



宮本 峻光 会員 『冬の病気の話』

感染症とは、病原体が体内に侵入しておこる病気で、病原体の感染力と人の抵抗力（免疫力）が発症を左右します。インフルエンザやコロナ、ノロウイルスなどウイルスによって引き起こされるもの、結核やO-157大腸菌など細菌によって引き起こされるもの、マダニやアニサキスなど寄生虫によって引き起こされるものがあります。感染経路としては、空気中に浮遊する病原体を吸い込むことで感染する空気感染、くしゃみによる飛沫から感染する飛沫感染、皮膚や粘膜の接触によって感染する接触感染、汚染された飲食物などを摂取して感染する経口感染などがあります。

病気に対して予防と対策をとることが大事になります。予防方法としては、手洗い、手指消毒、うがい、咳エチケット、マスク、**予防接種**があります。対策方法としては、規則正しい生活（食事・睡眠・運動）、抵抗力（免疫力をあげる）、換気（対角線上に窓を開ける、扇風機またはサーキュレーターで空気を循環する）3密を避ける（密閉、密集、密接）などがあります。

冬になると多くなる病気がインフルエンザに代表されるような風邪の症状です。風邪の80～90%がウイルスや

細菌が原因で発症します。症状としては、鼻水、喉が痛い、咳・痰、食欲不振、倦怠感、発熱があります。治療方法として、安静にすること、投薬、O2投与などの呼吸管理があります。予防対策としては、前述で話をした通りとなります。インフルエンザについては、ワクチンによる予防接種が効果的となります。

日本はワクチン接種をすることが遅れており、2007年にカナダへの修学旅行生が麻疹を発症し、飛行機に搭乗できず完治するまでホテル待機になることがあり、翌年2008年から中高生へワクチン接種が開始されました。そこから、2015年には麻疹排除状態となっております。ワクチンを接種すると副反応というリスクもともなってきます。麻疹のワクチン接種（MRワクチン）の副反応は、ショック・アナフィラキシー0.1%未満、脳病の危険（100～150万人に1人以下）急性血小板減少性紫斑病（100万人に1人）があります。

結論からして、リスク0のワクチンはなく、予防は大事なので、納得して接種しましょう。ワクチンを接種することで、重症化抑制・死亡抑制につながります。接種のメリットはデメリットよりもはるかに大きいです。Infordemic（Information pandemic）に注意して、納得して楽しい人生を過ごしましょう。

『ロータリーの友』11月号 RI会長メッセージより

感謝の気持ちを寄付で伝えよう

2025-2026年度 国際ロータリー（RI）会長 フランチェスコ・アレツツォ

ロータリー財団月間を祝う11月は、寄付を行うだけでなく、寄付をする理由についても考えていただきたいと思えます。財団は、単にプロジェクトに資金を提供しているだけではありません。財団は、信頼と友情に根差した奉仕が持続可能な変化をもたらすという私たちの約束を果たすための原動力です。

ロータリーの行動計画は「より大きなインパクトをもたらす」ことを求めており、財団はこのビジョンを実現させる手段なのです。1988年以来、ロータリーとパートナー団体は、約30億人の子どもにポリオの予防接種を行ってきました。私たちはこの活動のために26億ドル以上を投入し、昨年だけでも1億4,600万ドルを根絶への最後の一押しのために投入しました。これらの数字は重要ですが、真のインパクトは統計だけに表れるものではありません。真のインパクトとは、子どもたちが決してポリオにおびえなくなることであり、家族が希望を取り戻し、かつて疾病にさいなまれていた地域社会に平和が築かれることです。

しかし、ポリオ根絶は数あるストーリーの一つに過ぎません。毎年、ロータリー平和センターは、対立を対話へ、分断を理解へと変える新世代のリーダーを育成しています。2023-24年度には、新たに約100人の平和フェローが研究を開始し、140カ国以上からの1,800人を超える平和構築者たちのレガシーを受け継いでいます。彼らに投資することは、今後何十年にもわたって実を結ぶ平和の種をまくことです。

財団はまた、地区補助金やグローバル補助金を通じて、大小さまざまなプロジェクトを支援し、人々の生活に変化をもたらしています。農村地域に安全な水を提供する井戸、若い専門家を育てるための奨学金、災害後の医療など、これらは一時的な対応ではなく、尊厳、レジリエンス、機会への一歩です。こうして、ロータリーの奉仕は持続可能なインパクトを持つようになります。また、自然災害に見舞われた際にも、ロータリーは災害救助補助金で迅速に対応することができます。

ロータリー財団にとって大切なのは、私たちが単独で何を達成できるかではなく、協力して何を達成できるかです。大小にかかわらず、全ての寄付が他の寄付と合わさって、人類と未来のための大きな力となっていきます。

どんな偉大な旅でも、一番大変なのは最後の1マイルです。私たちは、ポリオ根絶に向けた最後の一步、平和のための活動、そして人々を絶望から救い出そうとするあらゆるプロジェクトにおいて、このことを実感しています。しかし、私たちが行う全ての寄付は、どんな困難があろうとロータリーの活動は継続していくという宣言なのです。

今月は、感謝の気持ち、喜び、希望を寄付という形で表しましょう。財団を通じて、私たちは「よいことのために手を取りあい」、その過程でプロジェクトだけでなく、平和、信頼、「超我の奉仕」というレガシーを残していくのです。